

自動運転バスの実証実験

事業の目的

鳥取駅を起点として市街地を循環する100円循環バス「くる梨」の運行エリアにおいて、自動運転バスの実証運行を行い、自動運転に対する社会受容性を高めつつ、技術面や環境面での課題を検証し、将来的な自動運転化の社会実装をめざした実証実験とする。

使用車両

【使用車両】

Minibus（ティアフォー製自動運転EVバス）1台

【自動運転Lv】 レベル4相当

【最高速度】 70km/h

【定員】 25人



事業の概要

【実施体制】 実施主体：鳥取市
運転業務：日ノ丸自動車(株)、日本交通(株)
運行管理支援：WILLER(株)
車両管理：(株)ティアフォー

【実施期間】 令和6年1月22日～令和6年2月29日

【自動運転Lv】 レベル2

【最高速度】 35km/h

【試乗運行】 9:00～16:30 8便/日×11人程度 ※調整中

運行ルート

鳥取バスターミナル(BT)→若桜街道→裁判所前
→鳥取城跡周辺→鳥取県庁→若桜街道→鳥取BT
【距離】 約4.6km 【所要時間】 約21分



国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転実証調査）」を活用し、同省「路車協調システム実証実験」と連携して実施。